

伊丹卓球協会

会 長 倉橋 貞一
副会長 大久保 勝
" 荒木 澄子
理事長 乾 哮

連絡先 乾 哮
〒666-0112
川西市大和西 5-22-8
Tel. 072-794-7825

協会旗

(写真1)

写真は3/上旬に届けます

説明無し

協会役員集合写真

(写真2)

写真は3/上旬に届けます

平成21年度伊丹卓球協会役員

協会創立50周年式典の記念集合写真

(写真3)

写真は3/上旬に届けます

協会創立50周年記念式典(H17年10月)

創立から現在までの経緯

昭和20～30年代の競技活動は尼崎の協会傘下にて行っていましたが、昭和30年故前田登美男氏、松原東氏たちが中心となって伊丹卓球協会を創立しました。当時は体育館もなく十分な環境ではありませんでしたが中高校生は常にトップクラスで、インターハイでも全国準優勝するなど伊丹の名は全国に知られるところでした。又、実業団でも昭和47年には三菱電機女子、50年には東リ男子が団体軟式全国制覇するなど黄金時代の幕開けとなりました。

昭和50年代は全国的に家庭婦人のスポーツ参加の輪が広がり、当市でも荒木氏を中心に学校PTA単位での加入やクラブが結成されて、協会と連携を保ちながら益々盛んになって現在に至っています。

近年の高齢化社会の中、健康面からも卓球を続ける方が大変多くなり、創設されたマスターズの全国大会にも果敢に挑戦し毎年上位入賞を果たしています。

平成に入ってからラージボールが普及し、男女混合でプレー出来ることからじわじわと愛好者が増えてきました。圧巻は平成4年新潟での全国大会で、各クラス優勝、上位入賞など輝かしい成績を収めました。

又、卓球教室事業も小中学生部門を平成2年に創設して、協会の役員が中心となり、伊卓連リーダー会の協力を得ながら低学年から育て続けて現在20年目となります。生徒達の成績は後述しますが、森さくらのバンビ全国優勝を筆頭に何度も個人全国上位入賞を重ね、団体でも男女同時全国準優勝するなど毎年成果を出して卓球専門誌の紙面を賑わせています。全国の実業団へも優秀選手5名を輩出し、現在も3名が第一線で活躍中です。教室事業は学生に加え、一般、高齢者に至るまで幅広く指導活動を展開して現在に至っています。

外交活動の面では友好都市佛山市との交流事業で卓球代表団来日の際には、伊丹市と共に記念事業を行い、平成4年には北京での友好大会に倉橋会長とともに選手団として参加して日中友好に一役を務めました。

表彰関係では平成21年に荒木澄子氏が永年の指導功績に対し名誉あるミズノスポーツメントール賞を受賞しました。

伊丹卓球協会は平成17年に創立50周年を迎えて、記念誌を発行するとともに会員、関係者多数参加のもと記念式典・祝賀会を伊丹シティホテルにて盛大に行いました。

2 活動紹介 (平成12年～平成21年)

(掲載はいずれも全日本公式大会上位入賞者です)

- H12年 カデット 14才以下の部 3位 木内 彩子
- H13年 ハワイシニアオープン 3位 荒木 澄子
ダブルス 3位 荒木・林 組
- H14年 マスターズ 80才以上の部 2位 森川 賢治
- H15年 全国ホープス 男子団体 3位
伊卓教(児玉・森・小野)
- H16年 クラブ選手権 小中学生の部 男子団体
2位 伊卓教(大林・川上・小野・森)
クラブ選手権 小中学生の部 女子団体
2位 伊卓教(熊谷・小林・増田・森)
レディース大会 55～59才 2位 前田 澄子
65～69才 3位 荒木 澄子
全日本選手権バンビの部 優勝 森 さくら
マスターズ ハイエイティの部 3位 村上 和子
- H17年 宮津天橋立温泉大会 ダブルス 120～139才
2位 荒木・林 組
クラブ選手権 小中学生の部 女子団体
3位 伊卓教(尾形・富尾・増田・森)
レディース大会 団体B 2位 伊卓連
(仁井田・前田・水元・小嶋)
- H18年 レディース大会 65～69才 3位 仁井田さよ子
全日本選手権カブの部 3位 森 さくら
マスターズ ローエイティの部 3位 村上 和子
ハイエイティの部 3位 森川 賢治
- H19年 皆生温泉大会 60～64才の部 3位 林 志津子
- H20年 東アジアホープス日本代表A 優勝 森 さくら
レディース大会 ダブルス 126才以上の部 優勝
仁井田・前田 組
クラブ選手権 小中学生の部 女子団体
3位 伊卓教 (森・平井・土橋・福住)
ラージボール大会 ダブルス 一般の部 2位
小鷹・吉脇 組
マスターズ ローエイティの部 3位 村上 和子
- H21年 レディース大会ダブルス 126才以上の部優勝(二連覇)
仁井田・前田 組
クラブ選手権 小中学生の部 女子団体
3位 伊卓教 (土橋・平井・榊・江戸)

3 現在の活動状況

当協会の現在の会員数は男性300名、女性250名、小中高校生350名、総数900名で構成されています。更に会員以外でも市内では300名を超す方々が高齢者を中心に卓球を楽しんでおられます。

さて、協会の事業は大きく分けて2つあります。一つは大会の開催であり毎年14大会を行い、平成20年度は延べ3000人が参加されました。

大会種目の見直しも毎年行い、会員のニーズを反映させて、より楽しい内容に改訂を重ねています。

今後の課題としては、特に高齢者の方々にも楽しんでいただける企画を検討し協会への新規加入を促進して卓球の輪を広げていきたいと考えています。

もう一つの事業は教室事業でありまして、講習会の開催と小中高校生を対象とした学生部門、レディースを中心とした一般部門、それに高齢者部門の3分野に分けて日々、指導育成活動を行ない選手のレベルアップと底辺の拡大に努めています。

当協会も半世紀にわたり活動、発展して参りましたが、今後も伊丹市体育協会のご指導のもとに更に発展していく所存です。

写真2枚 左⇒ダブルス全国2連覇
右⇒荒木氏のメンツール賞
(写真4)

写真は3/月上旬に届けます

左;レディース全国ダブルス2連覇の仁井田・前田選手
右;荒木澄子氏ミスノスポーツメントール賞受賞

伊丹卓球教室生徒の集合写真

(写真5)

写真は3/月上旬に届けます

伊丹卓球教室の生徒たち(H22年3月緑ヶ丘体育館)

